

重点的に取り組む事業

令和7年度の新規の施策や「福岡県の教育施策の体系」(4ページ)に示す8の項目において、特に重点的に取り組む施策に関する事業について、以下に示します。

1	学力向上総合推進事業（一部新規）	49
2	グローバル化に対応した英語教育推進事業（一部新規）	50
3	福岡県体力向上総合推進事業	51
4	福岡県部活動改革推進事業（一部新規）	51
5	ワンヘルス教育総合推進事業（一部新規）	52
6	読書好きを育む環境づくり応援事業	53
7	いじめ・不登校総合対策事業（一部新規）	54
8	保護者と学ぶ児童生徒の規範意識育成事業	55
9	地域と一体となった学校づくり事業（一部新規）	55
10	「 ^{また} 鍛ほめ福岡メソッド」総合推進事業	56
11	特別支援教育の推進事業	57
12	キャリア教育総合推進事業（一部新規）	58
13	帰国・外国籍児童生徒の教育支援事業（一部新規）	59
14	ICTを活用した教育推進事業（一部新規）	60
15	児童生徒を取り巻く生活環境改善事業	61
16	教職員の働き方改革推進事業	61
17	ジュニアアスリート育成・女性アスリート支援・競技団体等活性化事業（一部新規）	62
18	ふくおか社会教育応援隊事業	62
19	九州歴史資料館収蔵品デジタル化・公開事業（新規）	63
20	人権が大切にされた社会をめざす生徒のリーダーシップ育成事業	63

※（一部新規）中の_____の部分が新規事業を表す

<参考資料1>重点的に取り組む事業に関する予算概要 64

<参考資料2>魅力ある県立高校づくり～次代を担う人財の育成に向けて～ 66

県、市町村、学校が一体となった学力向上の取組を総合的に展開することにより、児童生徒の実態に即した取組を強化して、確かな学力を育みます。

確かな学力の育成

市町村教育委員会支援

◆ふくおか学力アップ推進事業

○学力調査の実施

- ・福岡県学力・学習状況調査
小5、中1・2
(国語、算数・数学、英語〈中2のみ〉)
個の伸びに着目した調査結果の分析及び
分析結果に基づく取組の検証改善
- ・全国学力・学習状況調査
小6、中3
(国語、算数・数学、理科)
- ・市町村教育委員会、小・中学校
の取組状況調査

○学力向上推進に係る会議の設置

- ・県の統一的な取組や各地区の課題に
応じた取組を推進
「福岡県学力向上推進会議」
「各地区学力向上推進委員会」

○学力向上推進強化市町村の指定

- ・県内14市町村
- ・学力向上支援チームの派遣
- ・学力向上施策の助成

○非常勤講師の活用

- ・少人数指導、習熟度別指導等の
きめ細かな指導の充実

○小中連携教育の推進

- ・小・中学校間の教員による授業
交流、合同研修会の促進

○両政令市との連携強化

- ・学力向上の取組の成果と課題の
共有

市町村・学校の
学力向上推進
体制の整備

教員の指導力の向上

児童生徒

○知識及び技能

○思考力、判断力、
表現力等

○学びに向かう力、
人間性等

学校・教員支援

◆学力向上推進拠点校指定事業

○学力向上推進拠点校の指定

- ・学力向上推進拠点校（中学校）6校
- ・学習支援員の派遣
- ・指導主事の重点的な派遣
- ・研究費の助成

◆主体的・対話的で深い学びの推進

○外国語科(英語)授業力向上実践講座

- (対象者)
- ・中学校外国語科担当教員
- (内容)
- ・言語活動を中心とした授業構想の支援
- ・モデルとなる授業動画の配信

◆授業力向上、学力向上プラン改善の支援

- ・授業づくり支援チームの派遣
- ・県立高校入試問題を活用した授業改善・学習資料の作成・配布
- ・基礎・基本を含む活用力育成教材集の活用
- ・学習到達度診断シート（未来への一歩）や動画コンテンツ（算数・数学、外国語）、授業チェックリストの活用
- ・学力向上プランを活用した検証改善サイクルの確立

学校、家庭、地域の連携・協働

【学校と地域の効果的な連携・協働】

◆地域学校協働活動事業

- ・地域学校協働本部を設置し、学校支援、学習支援等を実施する市町村を支援
- ・地域学校協働活動推進員、協働活動サポーター等研修会の開催

◆コミュニティ・スクールの推進・充実

- ・コミュニティ・スクール導入後の取組の充実に向けた研修会の開催

【家庭教育を支援する取組】

◆学習習慣の定着に関する啓発等

- ・県社会教育主事等が家庭教育に関するリーフレットを活用し、学力の基盤となる基本的学習習慣や家庭での学習習慣の定着について、保護者等への情報提供及び啓発

◆県PTA連合会と連携した取組

- ・PTAが実施する"新"家庭教育宣言等における基本的学習習慣の定着を図る取組の奨励

その他の取組

- 携帯電話・スマートフォンのルールづくりの推進
- 「チーム学校」等の強化

事業費：410,621千円

小学校教員及び中・高等学校英語教員の英語力・指導力を高めるとともに、小・中・高で一貫性のある英語教育を実施することを通して、英語力や英語で積極的にコミュニケーションを図る態度を養成し、海外留学を志す児童生徒及びグローバル社会で活躍する人材を育成します。

英語で積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付け、
グローバル社会で活躍する人材を育成

児童生徒の
英語力の向上

教員の英語力・
指導力の向上

豊かな国際感覚の
醸成

中・高等学校における英語教育の高度化への対応

1 英語力の高い生徒の育成

- 福岡県学力調査（英語）の新設＜中＞
- ハウスデンボスでのイングリッシュキャンプ（3泊4日）＜中＞
- 英語授業改善推進市町村による実践的研究＜中＞
（AIアプリを活用した英語授業モデルの構築、英語授業改善推進委員会の実施）
- 県域の中学生（全学年）を対象とした英検IBAテストの実施＜中＞
- 中学生英語スピーチコンテストの開催＜中＞
- ALT（外国語指導助手）の配置・活用＜中・高＞
- ALTスペシャリスト（英語イマージョン教育等の実践・普及も担うALT）、NET（ネイティブ英語教員）の配置・活用＜高＞
- ALTを活用したオンライン英会話の実施＜高＞

2 教員の英語力・指導力の向上

- 教員の英語指導力向上研修の実施・充実＜中・高＞
- NET及びALTスペシャリストによる公開授業の実施＜高＞

3 高校生の海外留学の促進

- 「福岡から世界へ」人材育成プログラムの実施
- 海外留学の手続・費用等に係る説明会の実施
- 海外留学経費の助成
- 留学経験者による留学の促進活動

小学校における英語教育の教科化への対応

1 教員の英語指導力の向上

- 力量を備えた教員の採用

2 小学生の英語コミュニケーションへの意欲向上

- 言語活動を通して指導することへの支援
- 県域の小学6年生を対象とした英検ESGの提供

【課題】 ■児童生徒の英語力の向上 ■小・中・高校教員の英語力・指導力の向上
■高校生の海外留学に対する意識や意欲の向上

事業費：565,704千円

子どもの運動やスポーツをする習慣の定着と体力向上のため、スポコン広場の実施や教員の指導力向上に向けた研修会の開催等により、子どもの体力向上に係る総合的な取組を実施します。

子どもの運動やスポーツをする習慣の定着と体力向上

子どもの体力向上に係る総合的な取組

運動やスポーツへの動機付けと習慣化

小学生チャレンジスポーツプロジェクト

- 「スポコン広場チャレンジランキングゾーン」の実施
- 「みんなでダンス」の実施
- スポコン広場地区大会の開催

体力アップシートの配布

- 運動やスポーツへの動機付けを図るため、運動・スポーツへの取組や新体力テストの結果が記録できるシートを配布

福岡県体力向上推進委員会

- 体育・保健体育授業検討部会、運動日常化推進部会において、体力向上に向けた具体的な取組を検討

教員の指導力向上

小・中学校体力向上指導者研修会

- 小・中学校の体育担当教員を対象として、体力向上に関する取組についての研修を実施

武道等指導者養成研修会

- 中・高等学校の保健体育教員を対象として、武道の楽しさを味わうための指導法を学ぶ研修を実施（柔道、剣道、空手道）

体育・保健体育科授業の充実・改善
「1校1取組」運動を位置付けた体力向上プランの
作成・実施（計画的・継続的な取組の充実）
「運動やスポーツの楽しさ・喜び」の実感

事業費：1,769千円

生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築のため、部活動改革協議会や実証事業等の実施、指導者向け研修会の開催等により、部活動改革に係る総合的な取組を推進します。

生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築

部活動改革に係る総合的な取組

実施主体、人材確保等の環境づくり

- 部活動改革協議会の開催
 - ・県及び市町村における部活動改革の方針や進捗状況及び課題等について検討する協議会の設置
 - ・部活動の地域移行に関する研修会の実施
- 部活動の地域移行に向けた実証事業
 - ・体制整備、指導者の質の保障・量の確保、関係団体・分野との連携強化等について実証し、県内に広く普及
- アドバイザー派遣事業
 - ・協議会を設置し積極的に取り組んでいる市町村に対し、課題に応じた知識や経験を有するアドバイザーを派遣
- 部活動指導員の配置支援
 - ・部活動の指導体制の充実
 - ・教職員の負担軽減

教育庁

連携

人づくり・
県民生活部

指導者向け研修会等

- 運動部活動指導力向上研修会
 - ・中・高等学校の運動部活動顧問を対象とした指導力向上のための講義及び実技研修
- 部活動指導員研修会
 - ・部活動の指導体制の在り方や生徒理解に基づく指導法等に関する研修
- 部活動改革セミナー
 - ・各市町村の関係者等を対象とした部活動改革に係る国の動向や先進地域の実践等を共有するセミナー

事業費：233,533千円

5 ワンヘルス教育総合推進事業（一部新規）

高校教育課・義務教育課・特別支援教育課・体育スポーツ健康課・社会教育課

幼児・児童・生徒が生涯にわたって自らの健康や環境を適切に管理・改善していくための資質・能力を身に付けるため、幼児期段階から高等学校段階までの系統性ある「ワンヘルス教育」の推進を図るとともに、「ワンヘルス」の理念の普及・啓発を図ります。



生涯にわたって自らの健康や環境を適切に
管理・改善していくための資質・能力の育成

ワンヘルスの理念の普及・啓発 / ワンヘルス教育の推進

幼稚園・ 小・中学校

- ◆幼稚園における啓発用絵本の配布
- ◆小学校における動物飼育相談に係る学校支援
- ◆ワンヘルス学習推進校(小学校4校・中学校4校)
 - ・ワンヘルスマスターの活用
 - ・実践発表会の開催
- ◆農業高校等を活用したワンヘルス学習の実施
- ◆教員向けワンヘルス教育推進研修(オンデマンド型)の実施

高等学校

- ◆ワンヘルス教育推進教員向け研修会の実施
- ◆外部講師の活用による講演会の実施
- ◆農業高校における先進的、重点的な取組及び実践発表
- ◆ワンヘルス教育の実践内容の共有及び普及・啓発・推進
- ◆「福岡から世界へ」人材育成プログラムの中でのワンヘルスに関する学習

特別支援学校

- ◆ワンヘルスマスター等の活用による教員向け講演会の実施
- ◆ドッグセラピーの実施
- ◆ワンヘルス学習推進モデル校でのカリキュラム開発・実践

青少年教育施設

- ◆屋外用案内板を活用してワンヘルスプログラムを実施
- ◆ワンヘルス教育の普及・啓発のためのパネル展示

子どものためのワンヘルスリーフレットの配布
【 小学校低学年版、小学校高学年版、中学校版、高等学校版、特別支援学校版 】

指導・助言

成果報告

ワンヘルス教育推進委員会

〔 構成 〕 学識者、獣医師会、医師会、市民団体、実践協力校、福岡県高等学校保健会、
福岡県関係部局、福岡県教育委員会

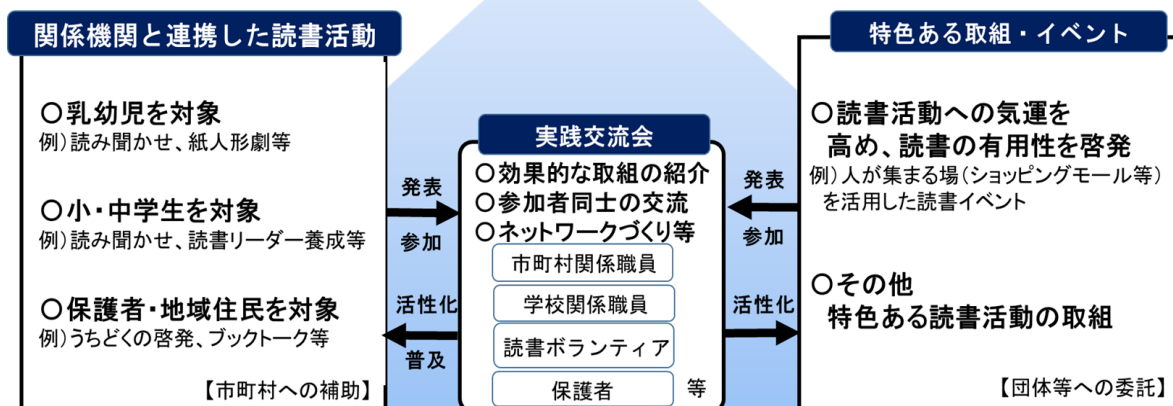
< 推進委員会で協議する内容 >

- ◆ワンヘルス教育の目的及び目指す子ども像
- ◆関係部局・団体等との連携の在り方
- ◆発達段階の系統性を踏まえたワンヘルス教育の実践
- ◆学校、保護者、地域に対する周知・啓発

事業費：25,773千円

乳幼児から中学生までを対象とした発達段階に応じた読書活動の取組や保護者への啓発、読書活動の気運を高める特色ある取組の支援を通して、「読書が好きな子ども」が育まれる環境づくりを推進します。

読書好きを育む環境づくりの充実



事業費：2,771千円

スクールカウンセラー等の専門家や関係機関等との連携・協働、一人一人に応じた多様な支援により、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指し、誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりを推進します。

魅力ある学校

児童生徒を取り巻く 生活環境改善事業

- 全中学校区（指定都市・中核市を除く）へのスクールソーシャルワーカー配置経費の助成
- 生徒指導上の諸課題を抱える中学校区への専門スタッフ（スクールソーシャルワーカーや生徒指導支援スタッフ）の配置
- 弁護士による学校危機管理に関する研修の実施
- 不登校や中途退学等生徒指導上の諸課題を抱える県立高校にスクールソーシャルワーカーを配置

いじめ問題対策の推進

- 福岡県いじめ問題総合対策【改訂版】に基づく取組の実施
- いじめの未然防止・早期発見・早期対応の手引【改訂版】の活用
- いじめ問題対策連絡協議会
- 福岡県県立学校いじめ防止対策推進委員会
- 学校生活・環境多面調査の活用
- 保護者用リーフレットの配布
- 外部専門家の支援による県立学校のいじめ重大事態の防止

不登校対策の推進

- 「福岡県不登校児童生徒支援グランドデザイン」の実現
 - ・福岡県不登校児童生徒支援会議
 - ・ICTを活用した不登校児童生徒への支援の充実
 - ・校内教育支援センター（小学校）への支援員の配置助成
 - ・保護者用、教員用リーフレット「アクション3」及び不登校児童生徒支援リーフレットの配布
 - ・不登校予防診断チェックリストの活用
 - ・不登校及び不登校兆候児童生徒へのチーム支援（チームサポート（マンツーマン）方式）
- 不登校生徒へのオンライン学習環境の提供（県立学校）
- 小郡高等学校に「学びの多様化学校」として「みらい創造コース」を設置
- 博多青松高等学校の通信制課程において、協力校でのスクーリング（面接指導）を実施
- 一般入学者選抜において長期欠席者に対する特例措置を実施

いじめ・ 不登校の 予防・解消

教育相談体制の整備・ 充実

不登校児童 生徒の学び の場の確保

スクールカウンセラー等 活用事業

- スクールカウンセラーを全小・中学校（指定都市を除く）及び全県立学校に配置
- スクールカウンセラーや各種相談員への指導助言、緊急を要する事案等への対応を行うスクールカウンセラースーパーバイザーを各教育事務所に配置
- 県立学校の不登校解消等のため、訪問相談員等を各学区に配置

いじめ・不登校対策相談事業

「子どもホットライン24」相談事業

- 土曜・日曜を含む24時間対応教育相談の実施
- 児童生徒や保護者からの電話相談・メール相談等への対応
- 虐待に関する他機関との連携

SNSを活用した教育相談事業

- 児童生徒のコミュニケーション手段として利用が進むSNSを活用した双方向システムにより、様々な悩みや不安等に対応する教育相談の実施

教育相談体制の構築、 関係機関・地域との連携

- 教育相談ネットワークの構築
- 学校警察連絡協議会
- ふくおか児童生徒健全育成サポート制度の適切な運用
- 学校の法的対応に関する弁護士との連携

地域総がかりで行う 不登校児童生徒支援

- 地域における子どもの居場所づくりに係る経費の助成
- 保護者向けの講話や情報交換会開催に係る経費の助成

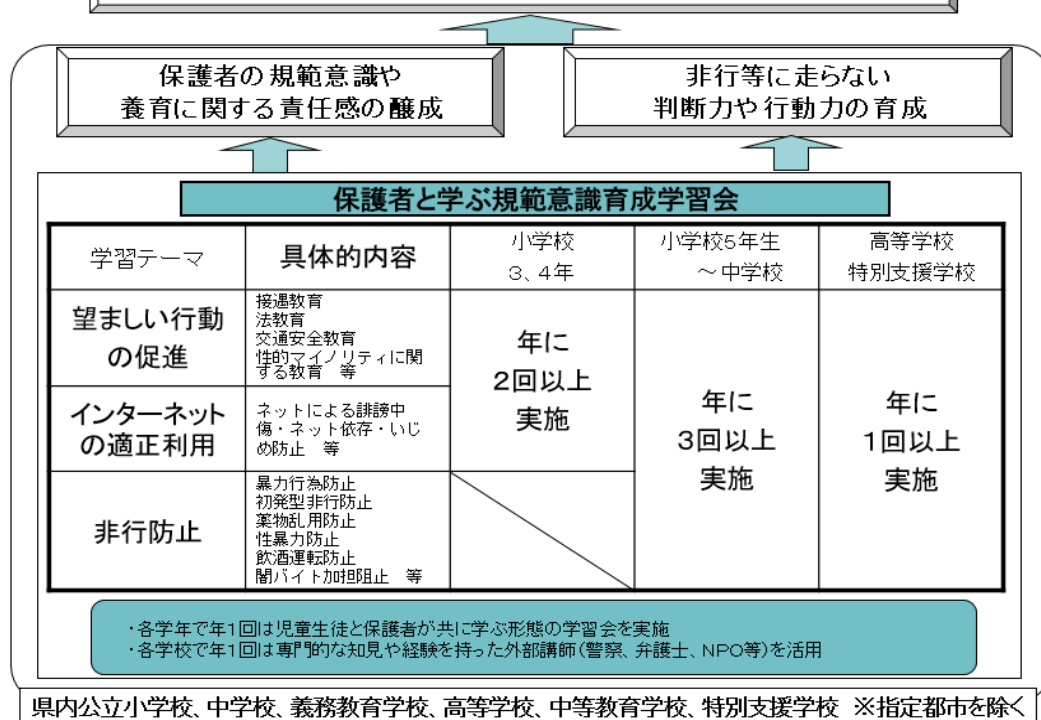
豊かな人間性の育成

- 福岡県豊かな心育成推進会議
- 子どもの人間関係形成や社会性を育成する活動等
- いじめ・不登校を生まない教育活動の推進

事業費：746,614千円

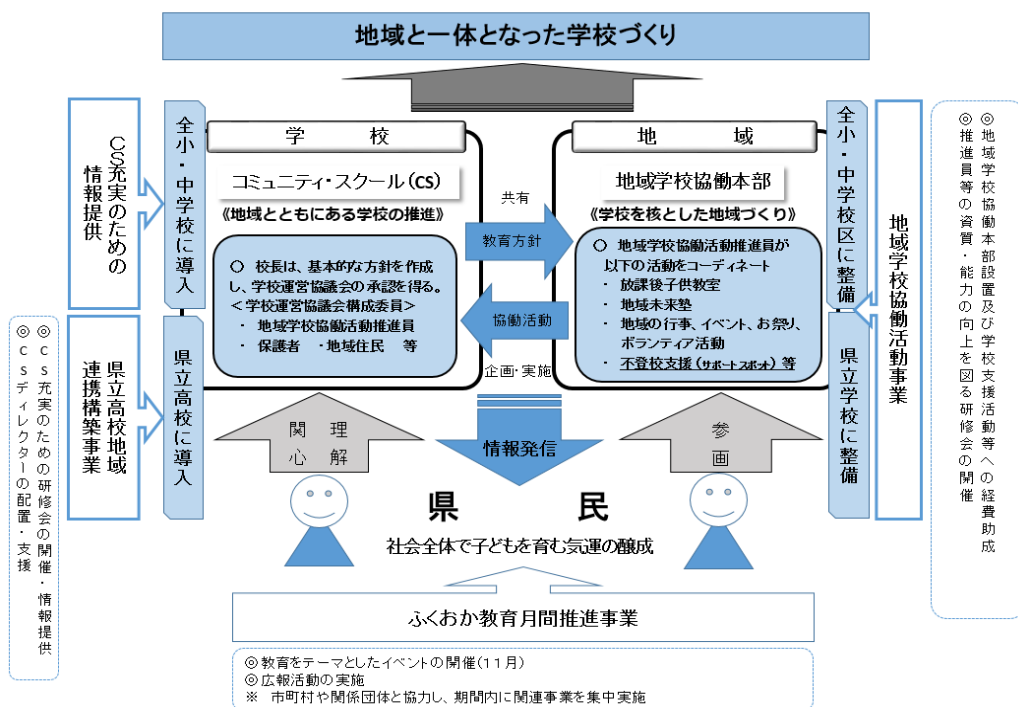
保護者が児童生徒とともに規範意識について学ぶことで、保護者の規範意識や養育に関する責任感を高め、さらに学校と家庭との連携を図り、児童生徒の規範意識を育成します。

非行防止の基盤となる児童生徒の規範意識の育成



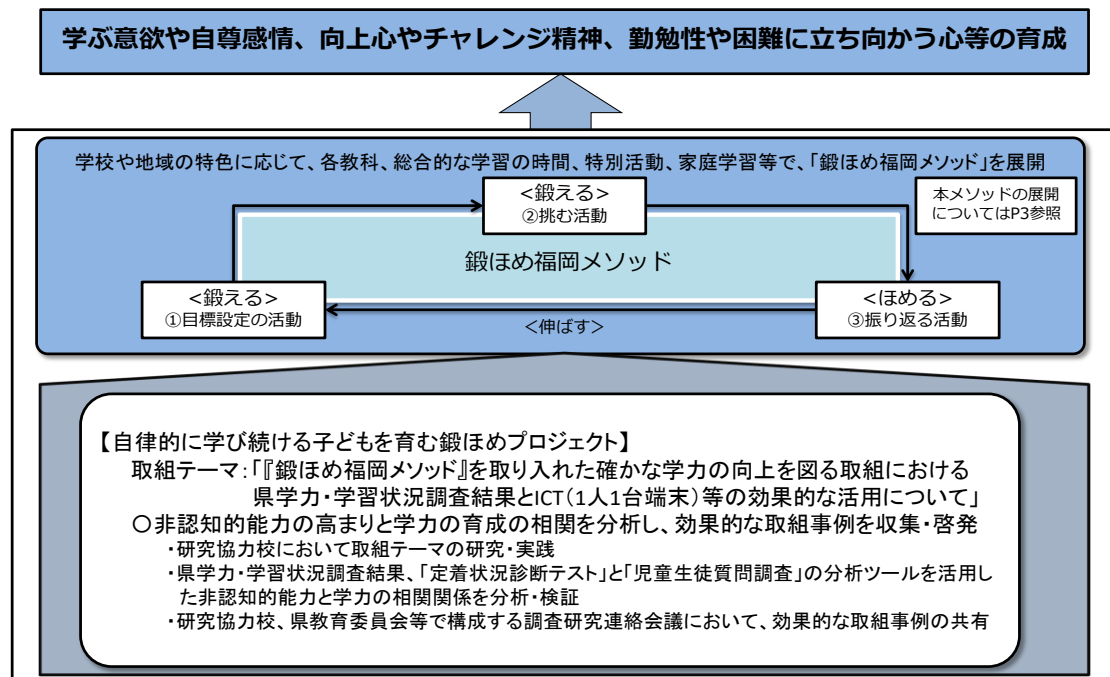
事業費：6,384千円

コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の導入・実践に取り組む市町村を支援するとともに、県立高校にコミュニティ・スクールと地域学校協働本部を導入・整備することで、学校、家庭、地域が連携・協働して子どもたちを育成する体制を整え、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を推進します。



事業費：163,505千円

福岡県独自の指導方法「鍛ほめ福岡メソッド」の実践を通して、子どもの学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心等を育成するとともに、その成果を県内に広く普及します。



事業費：3,589千円

福岡県特別支援教育推進プラン（第2期）に掲げた5つの柱に基づき、インクルーシブ教育システム構築のため特別支援教育を推進し、障がいのある子どもの自立と社会参加を目指します。

障がいのある子どもの自立と社会参加



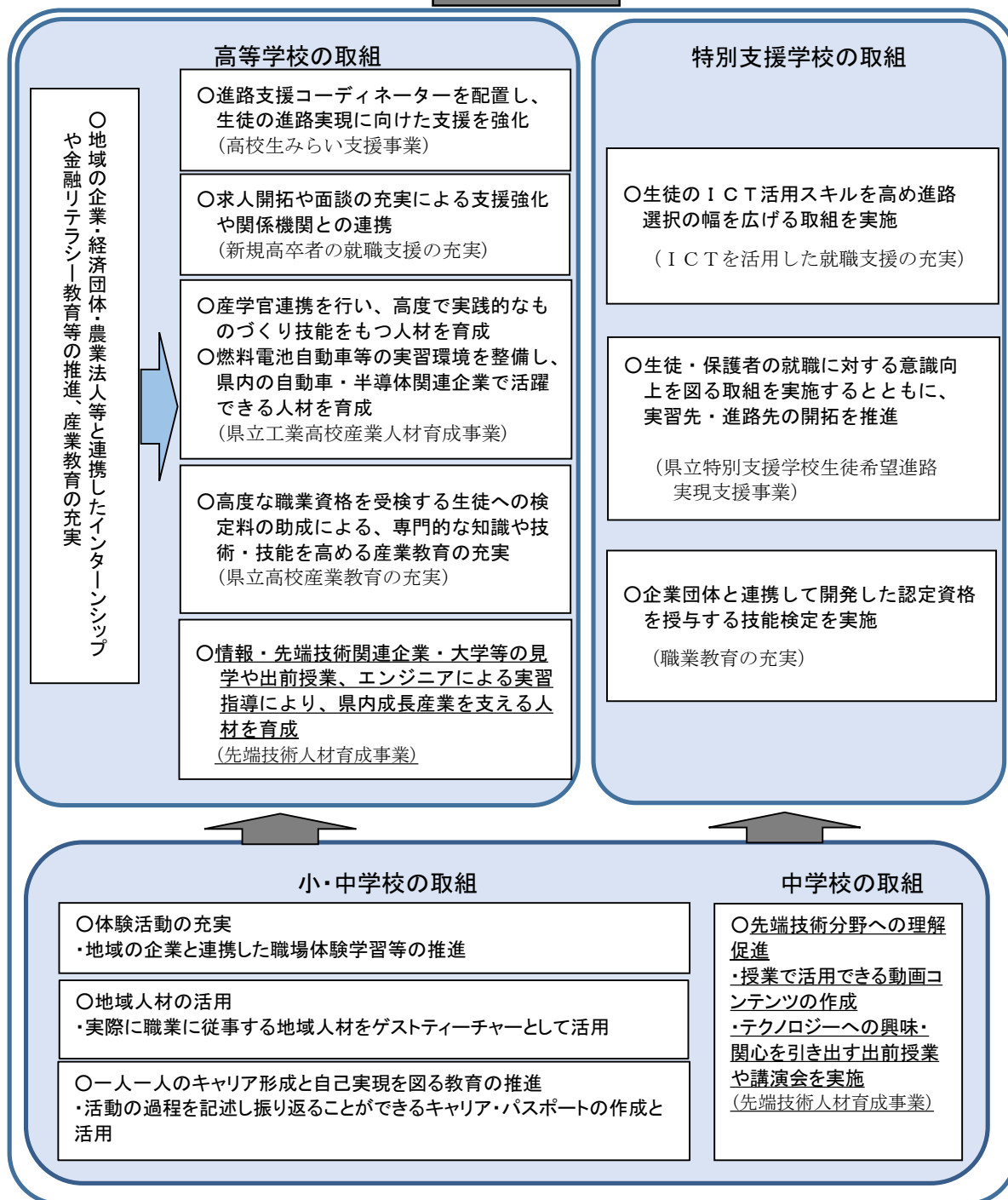
【課題】

- ・対象児童生徒数の増加に伴う特別支援学校の教室不足の解消
- ・障がいの重度・重複化及び多様化に対応した教育の充実及び教員の専門性の向上
- ・子どもの多様なニーズへの対応（学びの場の検討、実習先・就職先の開拓）
- ・進学・就職時における継続性のある指導及び切れ目ない支援

事業費：491,466千円

地域の企業・経済団体等と連携して、子どもの発達段階に応じた勤労観・職業観を育み、自立した生き方を考えさせるためのキャリア教育、各地域のニーズに応じた職業教育を推進します。

社会で自立していく力



事業費：221,228千円

帰国・外国籍児童生徒の適切な教育の機会の確保を図るため、日本語指導を実施するとともに、学校生活全般に対してきめ細かな支援を行うことにより、児童生徒及び保護者が抱える課題を解決し、児童生徒の進路選択の幅を広げます。

児童生徒の進路選択の幅を拡大

帰国・外国籍児童生徒の日本の教育への適応

帰国・外国籍児童生徒へのきめ細かな支援体制と整備

高等学校段階

日本語講座実施

- 支援が必要な生徒が在籍する高等学校等に日本語指導者を派遣し日本語講座を実施
- オンラインでも受講可

学校生活サポーター配置

- 生徒の母語等に対応できる学校生活サポーターによる学校訪問
- 学習支援、生活支援、進路支援を実施

通訳ソフト導入

- 1人1台端末に通訳ソフトを導入
- 授業時の教員の説明や生徒の発言を翻訳
- 保護者との面談時にも活用

義務教育段階

専門研修の実施

- 担当者同士による授業づくり・支援体制等についての演習や協議
- 外部講師による講話など

日本語の理解不足や学校生活に適応できていないために、
帰国・外国籍児童生徒の進路選択の幅が狭くなっている。

事業費：10,145千円

学校におけるICT環境の整備を進め、これまでの教育実践とICTを最適に組み合わせ、児童生徒の情報活用能力などの資質・能力を伸ばす、令和の時代にふさわしい「新しい教育」の姿を実現します。

令和の時代にふさわしい「新しい教育」

ICTを活用した教育の充実

これまでの教育実践の蓄積

× ICT

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

教員のICT活用指導力の向上

- 各地域、学校の実態等に応じた研修等の実施
・各地域や学校の実態やニーズに応じた授業におけるICT活用についての校内研修等の支援
- 県立学校における授業へのICTの効果的活用を推進
・「教育の情報化推進主任」をチーフとして学校全体で授業改善に取り組む体制づくり
・ICTを効果的に活用した授業づくりに関する校内研修を充実

先進的教育モデルの研究

【小・中学校】

- STEAM教育等、ICTを活用した教科横断的な学びに関する授業・学習等の在り方について研究
- 協力校における情報活用能力育成のためのカリキュラムマネジメントの推進
- 指導計画や実践事例等の普及啓発

【県立学校】

- ICTを効果的に活用した授業改善や評価方法を研究
- 研究指定校において、遠隔・オンライン教育等を活用した新たな教育方法による教科等横断的な学びに関するカリキュラム開発等を研究

プログラミング教育の充実

【県立高校】

- 「情報Ⅰ」の実習の中で、プログラミングを活用して生活における諸問題の解決力を養う学習活動ができる環境を整備

学校横断型教育プログラムの実施

【県立高校】

- 1人1台タブレット型パソコンを活用した県立学校全体の多彩な教育資源の共有による、学校の枠を越えた学習活動の実施

ICT環境の整備

- 義務教育段階の公立学校における、福岡県公立学校情報機器整備基金を活用した1人1台端末の更新
- 県立学校の生徒用1人1台タブレット型パソコンの整備
- 県立学校の教員用タブレット型パソコンの整備
- 県立学校の学習用インターネット環境の整備
- 情報、数学、理科等の教育や、ICTを活用した文理横断的な学びを強化する県立学校に対し、必要な環境を整備
- 教員のICT活用をサポートする情報通信技術支援員（ICT支援員）の継続配置（全県立学校）
- 児童生徒の障がいの特性に応じたICT機器（分身ロボット・デジタル教科書・入出力支援装置等）の配備・維持・更新（県立特別支援学校）

生徒の学習データの蓄積・分析

- 各学校でのデータ分析により生徒自身の学びの振り返りや教員の指導改善に活用できるデジタル採点システムの活用（県立中・高等学校）

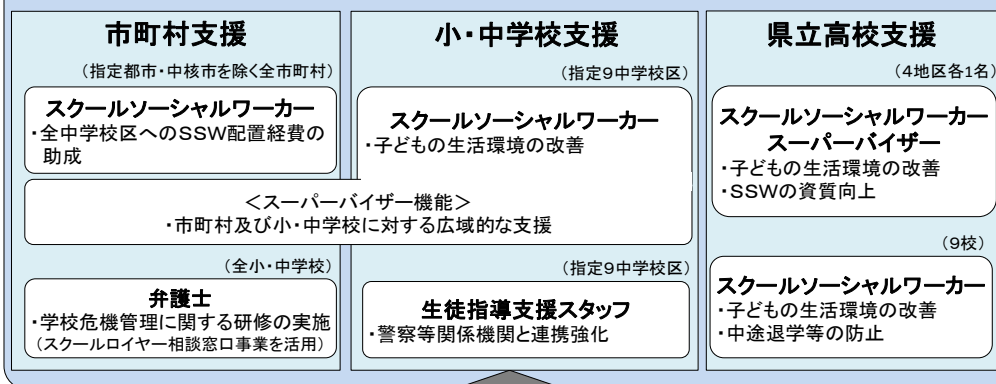
福岡県学校教育ICT活用推進方針

事業費：12,507,596 千円

学校をプラットフォームとした子どもの貧困対策を展開するため、全中学校区へのスクールソーシャルワーカー（SSW）配置など、専門スタッフの配置拡充により、学校の生徒指導及び教育相談体制を強化し、児童生徒を取り巻く生活環境の改善を図ります。

貧困をはじめとする子どもの生活環境の改善

「チーム学校」による生徒指導及び教育相談体制の強化



専門スタッフの配置・派遣

児童生徒を取り巻く生活環境の悪化、SSW配置等の不均等

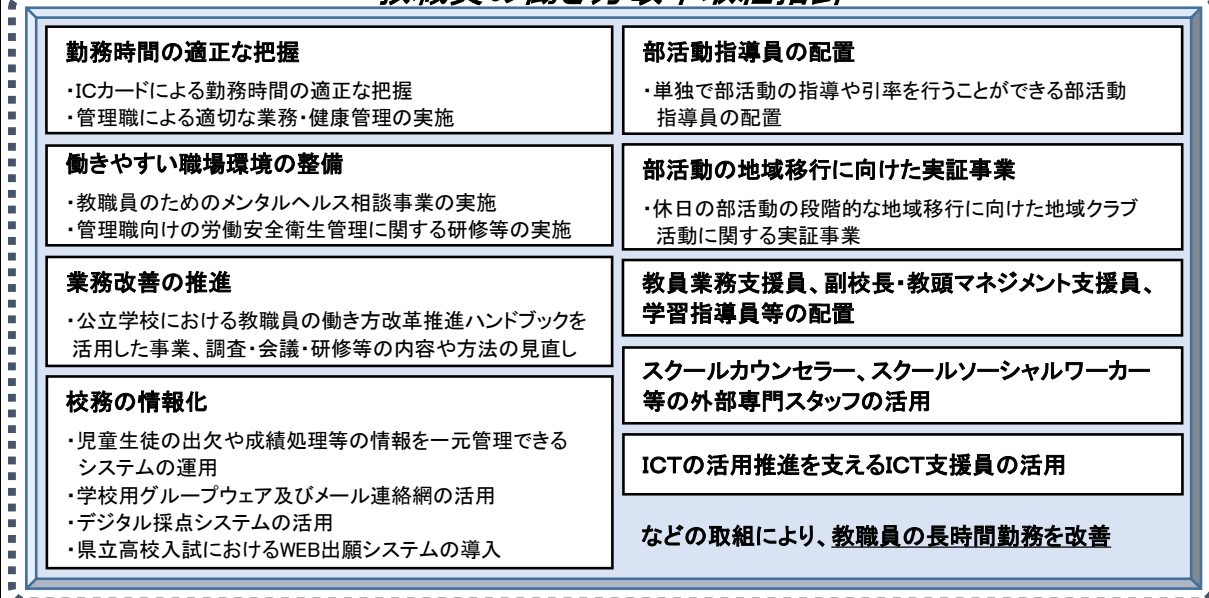
- 子どもの貧困、家庭状況を要因とする不登校児童生徒数の増加
- 各地域内の不登校等の学校間格差
- SSW配置状況の市町村間格差、SSWの資質向上等

事業費：92,745千円

教職員の長時間勤務を改善するため、実効性のある対策を働き方改革の指針に盛り込み、教職員が子どもや自分と向き合う時間の確保や教育の質の向上を図ります。

教職員が子どもや自分と向き合う時間の確保、教職員の健康の保持増進・ワークライフバランスの実現

教職員の働き方改革取組指針



抜本的な取組が必要

教職員の長時間勤務が深刻化

(教職員に求められる教育課題が複雑化・困難化するとともに、保護者・地域活動への対応等、その役割が多様化)

事業費：653,215千円

17 ジュニアアスリート育成・女性アスリート支援・ 競技団体等活性化事業（一部新規）

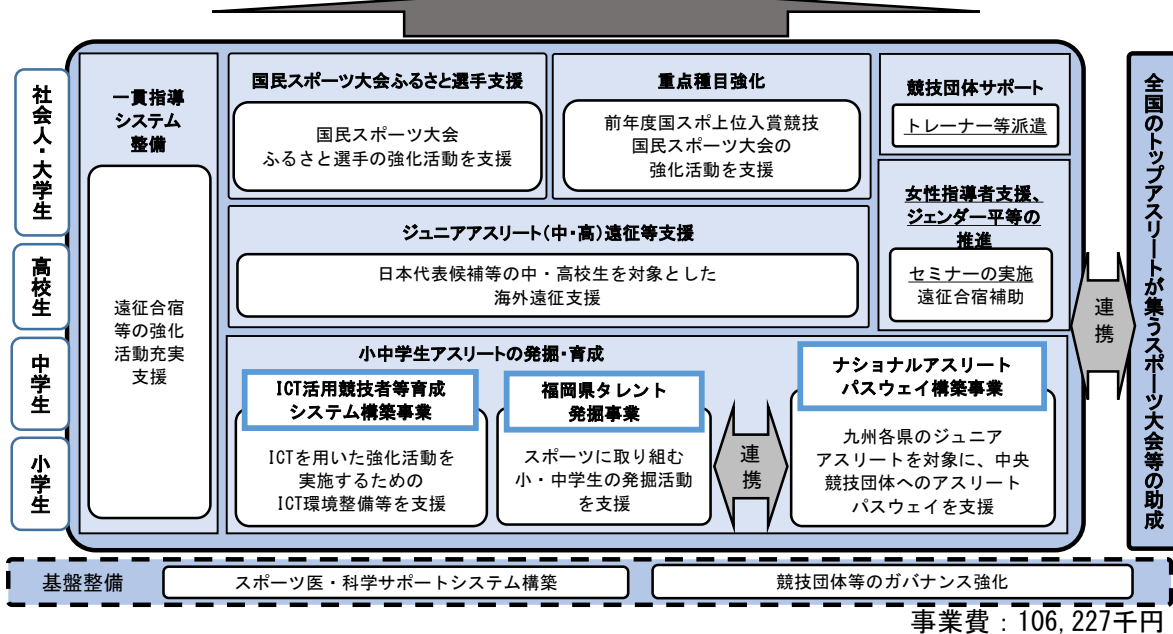
体育スポーツ健康課

国際大会等世界の舞台で活躍するなど、スポーツの力で県民に夢や感動を与えることのできるトップアスリートを輩出するため、スポーツに取り組む小・中学生の発掘から始まる各年代の「育成システム」を構築します。

目指す姿：スポーツの力で県民に夢や感動を与える！

国民スポーツ大会常時8位以内入賞・国際大会で本県ゆかりの選手が優秀な成績

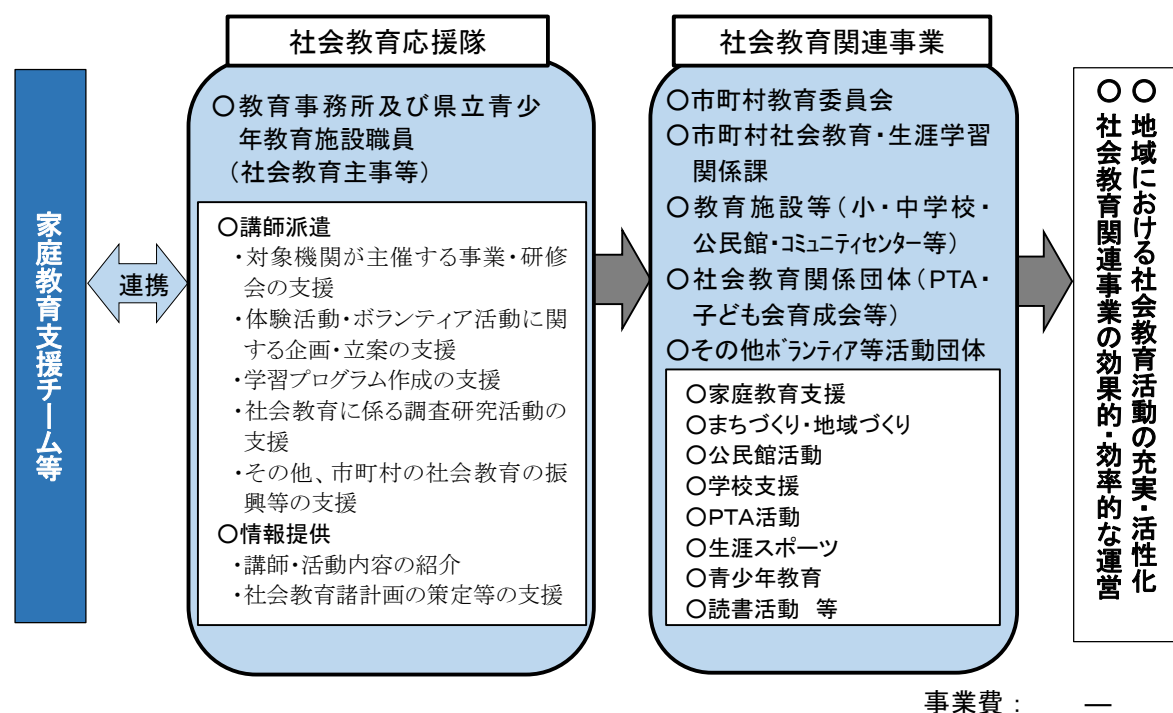
全ての競技団体が発掘・育成システムを構築、強化拠点の整備



18 ふくおか社会教育応援隊事業

社会教育課

「ふくおか社会教育応援隊（県社会教育主事等）」が、市町村規模あるいは広域で活動する機関・団体等が実施する社会教育関連事業に対し、効果的・効率的な運営を支援することにより、地域における社会教育活動の充実及び活性化を図ります。



自然災害等における文化財保護に係る課題に対応していくため、デジタル技術導入による「文化財DX」を推進し、本県の文化財を未来へ確実に保存・継承します。

文化財を未来へ確実に保存・継承

文化財資料 デジタル・アーカイブ

- ◆ 蓄積された膨大な文化財資料の保存管理
 - ・ 収蔵品のデータベース化、HP公開
 - ・ 指定文化財の被災・修復履歴を電子化
- ◆ 新たな文化財コンテンツの製作
 - ・ 指定文化財の3Dデータを作成、HP公開

文化財調査 イノベーション

- ◆ 災害等による緊急的な調査におけるデジタル技術の活用
 - ・ デジタル機器により調査対象の遺構等の測定や図面作成等の作業を迅速化

- 自然災害、老朽化、担い手不足等により、保存継承の危機にある文化財への対応が必要
- 博物館法の改正により、文化財資料のデジタル・アーカイブ化への対応が必要
- ICTが急激に普及する中、文化財調査におけるデジタル技術の活用が必要

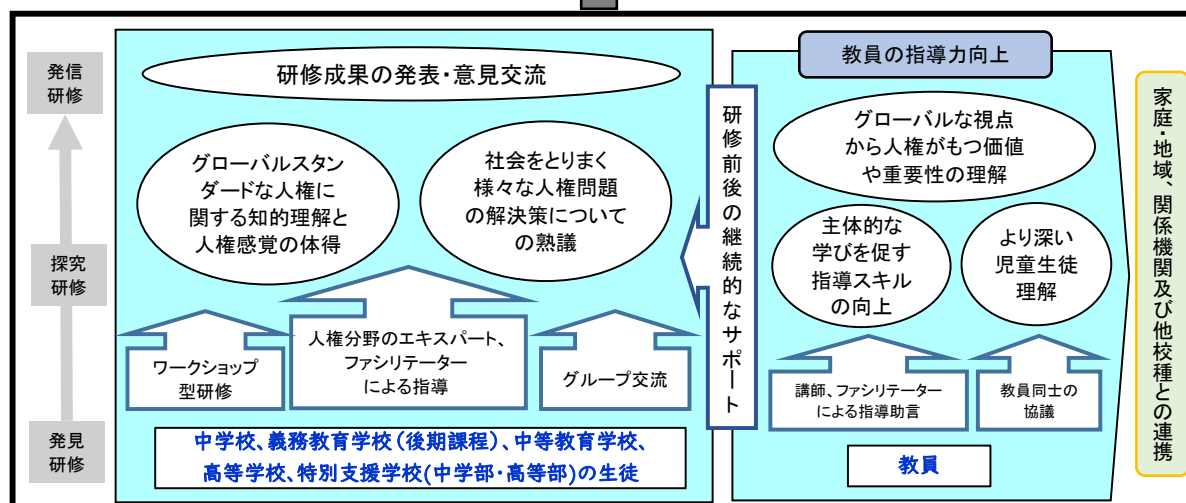
事業費：22,389千円

20 人権が大切にされた社会をめざす生徒のリーダーシップ育成事業 人権・同和教育課

グローバルで多様化した世界の中で、様々な人権問題に気づき、問題解決に向けた行動に一步踏み出すことのできる態度・技能（スキル）を身につけた生徒の育成のため、人権問題に関する有識者等によるワークショップや様々な地域・校種の参加者との交流プログラムを実施します。

人権問題の解決に向けた生徒のリーダーシップの育成

人権教育を通して培われた知識や様々な技能、態度をもとに、課題を自ら発見し、他者と協力しながら学びを深め、論理的に思考・判断し、人権問題の解決に向けて主体的に行動していく総合的な課題解決能力を育成



事業費：6,033千円

「令和7年度福岡県の教育施策」において、重点的に取り組む事業に関する予算概要

(千円)

柱	重点的に 取り組む 事業	事業名	予算額	説 明	
Ⅰ 教育の充実	1	ふくおか学力アップ推進事業	295,829	○福岡県学力調査の実施に要する経費(対象:小学校5年生、中学校1・2年生) ○学力強化が特に必要な市町村が実施する学力向上プランの推進に対する助成等 ○学力強化が特に必要な市町村への非常勤講師の派遣に要する経費	45,424 6,401 244,004
		[新]中学生英語実践力向上推進費	3,789	[新]福岡県学力調査(英語)の実施に要する経費(対象:中学校2年生)	
		学力向上推進拠点校指定事業	11,997	○推進拠点校における学力向上のための授業・組織運営・人材育成の一体的改善に要する経費	
		地域学校協働活動事業	99,006	○市町村が行う放課後活動、学校支援に対する助成等	
	2	グローバル化に対応した 英語教育推進事業	565,704	○中学校におけるグローバル社会で活躍する人財の育成に要する経費 ・英検IBAテスト(対象:中学生)、スピーチコンテスト	1,202
				[新]中学生における英語の実践力向上に要する経費	
				・福岡県学力調査(英語)の実施に要する経費(対象:中学校2年生) ※再掲	3,789
				・宿泊体験型英語プログラム「イングリッシュ・キャンプ」の実施に要する経費	6,633
				・AIアプリを活用した英語授業モデルの構築	23,806
				・英語授業改善推進委員会の実施に要する経費	194
				○高校における4技能型英語力の総合的な育成に要する経費	
				・ALT(外国語指導助手)の配置・活用による要する経費	429,258
				・ALTスペシャリストの配置・活用による要する経費	30,593
				・NET(ネイティブ英語教員)の配置・活用による要する経費	8,529
	3	福岡県体力向上総合推進事業	1,769	○「スポコン広場」地区大会等の開催に要する経費	949
				○武道等指導者養成研修会の実施に要する経費	820
	4	福岡県部活動改革推進事業	233,533	○部活動改革協議会の開催に要する経費	2,806
				○部活動の地域移行に向けた実証事業に要する経費	131,165
				[新]市町村への地域クラブ活動推進アドバイザー派遣に要する経費	2,783
				○市町村が行う中学校における部活動指導員の配置に対する助成	25,245
				○部活動指導員の配置に要する経費	71,126
	5	ワンヘルス教育総合推進事業	25,773	○部活動指導員等の研修に要する経費	408
				[新]幼児期におけるワンヘルスの普及啓発に要する経費	126
				○小・中学校における農業高校を活用したワンヘルス学習の実施等に要する経費	3,114
				○ワンヘルス教育の実践内容の共有及び普及・啓発・推進に要する経費	15,797
				○農業高校等における先進的な取組の実施に要する経費	1,989
	6	読書好きを育む環境づくり応援 事業	2,771	[新]県立特別支援学校におけるワンヘルス教育の推進に要する経費	4,747
				○市町村が実施する子どもの読書活動の充実を図る取組に対する助成	2,320
	7	児童生徒を取り巻く生活環境 改善事業	92,745	○子どもの読書活動推進に係る取組の実施等に要する経費	451
				○市町村の全中学校区へのスクールソーシャルワーカー配置に対する助成	38,966
				○小・中・高等学校における不登校等生徒指導上の諸課題に対応する専門スタッフ の配置に要する経費	53,779
		スクールカウンセラー等 活用事業	484,685	○全小学校へのスクールカウンセラー配置に要する経費	110,837
				○全中学校へのスクールカウンセラー配置に要する経費	264,650
	8	「子どもホットライン24」相談事業	33,504	○全県立学校へのスクールカウンセラー配置に要する経費	97,528
				○県立高校の各学区への訪問相談員等配置に要する経費	11,670
		SNSを活用した教育相談事業	24,514	○24時間対応教育相談の実施等に要する経費	33,012
				○教育相談体制の構築に要する経費	492
		不登校児童生徒支援事業	47,320	○SNSを活用した相談体制の構築に要する経費	
				○ICTを活用した不登校児童生徒支援に要する経費	12,990
				○早期アプローチを重視した不登校対策校内支援に要する経費	20,653
				○長期入院や不登校の生徒に対するオンライン学習環境の提供に要する経費	1,354
		[新]県立学校いじめ重大事態対策 強化事業	9,373	○博多青松高校通信制教育の充実による経費	2,288
				○県立高等学校における学びの多様化学校の運営に要する経費	10,035
	9	地域と一体となった学校づくり事業	163,505	[新]いじめ問題等学校支援チーム委員による学校支援に要する経費	515
				[新]いじめ重大事態調査委員会への第三者委員の派遣に要する経費	8,858
	10	「鍛ほめ福岡メソッド」総合推進事業	3,589	[新]地域における子どもの居場所(サポートスポット)を設置する市町村への助成	48,988
				[新]保護者向けの交流・相談会を開催する市町村への助成等	5,485
	11	特別支援教育の推進事業	491,466	○児童生徒及び保護者が参加する規範意識育成学習会への講師の派遣に要する経費	
				○市町村が行う放課後活動、学校支援に対する助成等 ※再掲	99,006
				○県立高校のコミュニティ・スクール導入に要する経費	900
				○県立高校における地域学校協働活動の実施に要する経費	1,139
				[新]地域における子どもの居場所(サポートスポット)を設置する市町村への助成等 ※再掲	54,473
				○ふくおか教育月間(11月)の推進に要する経費	7,987
				○小・中学校における学力向上のための「鍛ほめ福岡メソッド」の研究に要する経費	
				○医療的ケアを必要とする児童生徒のための環境整備に要する経費	292,627
	11	特別支援教育の推進事業	491,466	○幼稚園、保育所、小・中・高等学校への発達障がいに関する専門家の派遣等に 要する経費	6,330
				○特別支援学校生徒の就職促進を図るためのガイダンス等の実施に要する経費	17,478
				○スクールカウンセラー及び理学療法士等の外部専門家の配置に要する経費 ※一部再掲	19,282
				○県立学校への特別支援教育支援員の配置に要する経費	144,166
				○県立高等学校等における通級による指導の実施に要する経費	11,133
				○適切な就学先決定のための幼児期からの就学相談に要する経費	450

柱	重点的に 取り組む 事業	事業名	予算額	説 明	
Ⅰ 教育の充実	12	高校生みらい支援事業	41,688	○生活困窮世帯等の生徒に対する進学・就職支援を行うコーディネーターの配置に要する経費	
		県立工業高校産業人材育成事業	60,638	○産学官連携を行い、高度で実践的なものづくり技能を持つ人材育成に要する経費 58,766 ○半導体関連企業への訪問に要する経費 1,872	
		農業高校DX人材育成事業	2,250	○スマート農業機器を利用した実習、先進農家へのインターンシップ等の実施に係る経費	
		[新]先端技術人材育成費	78,650	[新]中・高等学校における先端技術への理解促進に要する経費	
		県立高校金融リテラシー教育推進事業	17,155	○県立高校における金融リテラシー教育の実施に要する経費	
		県立高校産業教育充実事業	3,369	○高度な職業資格を対象とした検定料の助成に要する経費	
		県立特別支援学校生徒希望進路実現支援事業	17,478	○特別支援学校生徒の就職促進を図るためのガイダンス等の実施に要する経費 ※再掲	
	13	帰国・外国籍児童生徒の教育支援事業	10,145	○小・中学校における支援体制を強化するための専門研修の実施に要する経費 - [新]県立学校における帰国・外国籍生徒の学校生活の支援に要する経費 10,145	
	14	ICTを活用した教育推進事業	12,507,596	○児童生徒の情報活用能力の育成に資する教育活動の充実に要する経費 3,970 ○生徒の学習データ分析による個別指導の充実、授業改善、採点業務の効率化に要する経費 13,271 [新]「情報Ⅰ」のプログラミング実習環境整備に要する経費 6,600 ○県立学校における1人1台タブレット型パソコンの整備に要する経費 678,276 ○県立学校の学習用インターネット環境の整備に要する経費 217,003 ○全県立学校のICT活用推進に向けたICT支援員の派遣に要する経費 104,379 ○教育センター、体育研究所においてICT活用能力向上に係る教員研修を実施するためのICT環境整備に要する経費 7,242 ○情報、理数教育を強化する学校のデジタル環境整備に要する経費 182,000 ○特別支援学校の訪問教育対象生の学習・交流機会拡充のための分身ロボット配備に要する経費 6,810 ○特別支援学校におけるICT活用教育推進のためのデジタル教科書及び電子黒板の整備に要する経費 8,438 ○特別支援学校等における1人1台端末を活用するための入出力支援装置の整備に要する経費 30,824 ○公立学校の1人1台端末の更新に要する経費 11,248,783	
	15	児童生徒を取り巻く生活環境改善事業 ※再掲	92,745	○市町村の全中学校区へのスクールソーシャルワーカー配置に対する助成 38,966 ○小・中・高等学校における不登校等生徒指導上の諸課題に対応する専門スタッフの配置に要する経費 53,779	
	16	教職員の働き方改革推進事業	653,215	○県立学校における勤務時間管理システムの運用に要する経費 12,685 ○県立学校における情報共有システム運用に要する経費 3,663 ○県立学校における生徒の基本情報等管理システム運用に要する経費 150,357 ○県立高校入試におけるWEB出願システムの構築に要する経費 44,990 ○全県立学校のICT活用推進に向けたICT支援員の派遣に要する経費 ※再掲 104,379 ○生徒の学習データ分析による個別指導の充実、授業改善、採点業務の効率化に要する経費 ※再掲 13,271 ○市町村が行う教員業務支援員・学習指導員等の配置に対する助成 89,175 ○市町村が行う副校長・教頭マネジメント支援員の配置に対する助成 6,751 ○部活動の地域移行に向けた実証事業に要する経費 ※再掲 131,165 ○市町村が行う中学校における部活動指導員の配置に対する助成 ※再掲 25,245 ○部活動指導員の配置に要する経費 ※再掲 71,126 ○部活動指導員等の研修に要する経費 ※再掲 408	
	Ⅱ スポーツ立 県福岡の実現	17	ジュニアアスリート育成・女性アスリート支援・競技団体等活性化事業	106,227	○ICTを活用したアスリートの育成に対する助成 18,137 ○将来有望な小・中学生の選手発掘・育成に対する助成 10,028 ○国民スポーツ大会成年種別の「ふるさと選手」の県内強化活動に対する助成 13,232 ○本県重点種目に指定する競技団体の遠征・合宿に対する助成 11,800 ○オリンピックをはじめとした大規模大会に向けたアスリートの育成等に要する経費 22,550 ○各種スポーツ大会開催に対する助成 8,450 ○競技団体の組織強化に対する助成 13,085 ○オリンピックをはじめとした大規模大会に向けた女性アスリートの育成に要する経費 1,414 [新]県内トップアスリートに対する医・科学アドバイザー等の派遣に要する経費 7,013 [新]女性アスリートの指導者を養成するためのセミナー開催に要する経費 366 [新]スポーツ団体におけるジェンダー平等を推進するためのセミナー開催に要する経費 152
	Ⅲ 共助社会づくり、生涯学習の推進	18	ふくおか社会教育応援隊事業	—	○市町村教育委員会等が実施する社会教育関連事業に対し、職員(社会教育主事等)が効果的・効率的運営を支援
Ⅳ 文化芸術の振興	19	[新]九州歴史資料館収蔵品デジタル化・公開事業	22,389	[新]収蔵品のデジタルアーカイブ化及びホームページ公開に要する経費	
Ⅶ 人権が尊重される心豊かな社会づくり	20	人権が大切にされた社会をめざす生徒のリーダーシップ育成事業	6,033	○人権リーダーシップ育成合宿等の実施に要する経費	

魅力ある県立高校づくり ～次代を担う人財の育成に向けて～

本県では、学校の特色化、教育活動の充実、生徒へのきめ細かな支援、学校の広報機能の強化などの取組・事業を実施し、**次代を担う「人財」の育成**の基盤となる**魅力ある県立高校**づくりを推進します。

だから私は「県立高校」をえらぶ！

ICTで学びが変わる 充実した学習環境

■ICTの効果的な活用

- ・1人1台タブレット、全クラスWi-Fi完備の学習環境で、ICTを効果的に活用した教育活動を実施します

■協働的な学び

- ・学校の枠を越えて共に学ぶ学校横断型の教育プログラムなど、協働的な学びを推進します

外国語指導の充実

- ・ALT（外国語指導助手）を活用したオンライン英会話や、ネイティブ英語教員、ALTスペシャリストの配置による高度な英語力の育成など、外国語指導の充実に取り組みます

安全・安心の落ち着いた環境で楽しい高校生活

■教員研修の充実

- ・生徒1人1人の興味・関心に向き合い、きめ細かな指導を行う教員を育成します

■専門家によるサポート

- ・スクールカウンセラーを全県立高校に配置し、スクールソーシャルワーカー・訪問相談員を拠点校から全県立高校に派遣します
- ・通級による指導を拠点校4校、サテライト校2校で実施します

学びを究める 多様なプログラム

- ・国際的な視野、実践的なコミュニケーション能力、課題解決能力を育む多様なプログラムを実施します

魅力ある県立高校
「スクール・ポリシー」
「スクール・ミッション」

特色化・活性化の推進

■学科・コースの充実

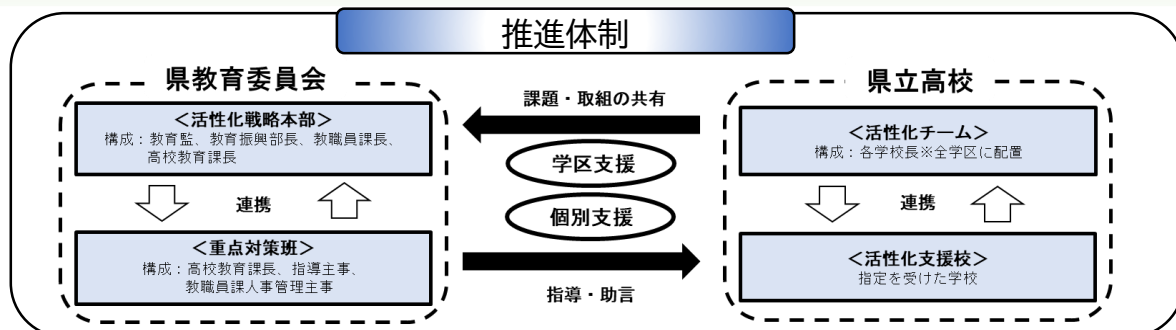
- ・個性豊かな1人1人の夢や目標の実現に向けて学科・コースの充実を図ります

■入学者選抜制度の改善

- ・受検生の多様な個性、学校の特色に応じた制度の改善に取り組みます

■広報機能の強化

- ・県立高校の魅力発信のための広報機能を強化します



スクール・ミッション：高等学校の設置者が定義する、各高校に期待される社会的役割。

スクール・ポリシー：スクール・ミッションを前提として各高校が策定する、教育活動の指針となる3つの方針（育成を目指す資質・能力に関する方針、教育課程に関する方針、入学者受入れに関する方針）。